

2023年9月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社テクノクリエイティブ 上場取引所 東
 コード番号 9335 URL <https://www.techno-creative.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名）三嶋 一秀
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 Co.プランニング部 部長（氏名）松田 英明 TEL（096）386-2360
 中間発行者情報提出予定日 2023年6月30日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期中間期の業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は対前期同中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-----------------|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年9月期 中間期 | 3,253 | 16.5 | 268 | 79.7 | 276 | 71.6 | 130 | 45.9 |
| 2022年9月期 中間期 | 2,792 | 22.1 | 149 | △4.0 | 160 | △65.0 | 89 | △67.5 |

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|-----------------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期 中間期 | 65.20 | — |
| 2022年9月期 中間期 | 44.68 | — |

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 当社は、2022年6月15日付で、普通株式1株につき10,000株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に実施されたと仮定し算定しております。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年9月期 中間期 | 2,779 | 638 | 23.0 | 319.07 |
| 2022年9月期 | 2,589 | 507 | 19.6 | 253.86 |

（参考）自己資本 2023年9月期中間期 638 百万円 2022年9月期 507 百万円

（注）当社は、2022年6月15日付で、普通株式1株につき10,000株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に実施されたと仮定し算定しております

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | |
|--------------|-------|------|------|
| | 中間 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 2023年9月期 | 0.00 | | |
| 2023年9月期（予想） | | — | — |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,600 | 14.7 | 484 | 113.9 | 493 | 102.2 | 305 | 119.9 | 152.60 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 (2) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年9月期中間期 | 2,000,000株 | 2022年9月期 | 2,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年9月期中間期 | －株 | 2022年9月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2023年9月期中間期 | 2,000,000株 | 2022年9月期中間期 | 2,000,000株 |

(注) 当社は、2022年6月15日付で、普通株式1株につき10,000株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に実施されたと仮定し算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 4 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 4 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 中間財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 中間貸借対照表 | 6 |
| (2) 中間損益計算書 | 8 |
| (3) 中間キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 中間財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2022年10月1日～2023年3月31日)における我が国経済は、資源高の影響などを受けても、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むとで、持ち直してきております。海外経済につきましては、国・地域ごとにばらつきを伴いつつありますが、総じてみれば回復傾向にあります。また、企業収益は全体として高水準で推移しておりますが、業況感については、資源高の影響から横ばいとなっております。設備投資につきましても、緩和的な金融環境にも支えられ、緩やかに増加しております。

しかしながら、2023年3月に発生した、米国のシリコンバレー銀行とシグネチャー銀行の相次ぐ破綻をきっかけとした米欧の金融部門を巡る不確実性の高まりが、国内金融システムを通じた国内経済に与える影響は特に注意が必要で、国際金融市場の動揺、米欧経済の大幅な下振れとなれば、国内外の景気回復の見通しが崩れる可能性もございます。

当社を取り巻く環境といたしましては、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に起因する供給制約(サプライチェーンの乱れ:物流麻痺、部品生産・調達における制約等)の緩和により、国内製造業においてはペントアップ需要に伴う増産体制の拡大が継続されております。また、DX需要が底堅く、AI・セキュリティ関連・老朽化したシステムの刷新等のIT案件も拡大基調にございます。

こうした状況の下、当社におきましては、顧客企業の生産体制強化に伴う人材需要のニーズに応えるべく、顧客企業への提案活動やエリア毎の採用基盤の整備など、事業基盤の構築を継続して参りました。顧客企業の増産に伴う当社における受注環境が良化する状況を受け、全社を挙げて採用活動及び人材育成に注力しております。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は3,253,871千円(前年同期比16.5%増加)、営業利益は268,280千円(前年同期比79.7%増加)、経常利益は276,086千円(前年同期比71.6%増加)、中間純利益は130,409千円(前年同期比45.9%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産の部)

総資産は2,779,665千円(前期末比190,066千円増)となりました。流動資産につきましては、2,121,675千円(同210,287千円増)となりました。これは主に、現金及び預金の増加108,362千円等によるものです。固定資産につきましては、657,990千円(同20,221千円減)となりました。これは主に、のれんの償却による減少38,884千円等によるものです。

(負債の部)

総負債は2,141,523千円(同59,656千円増)となりました。流動負債につきましては、916,717千円(同50,433千円増)となりました。これは主に、未払金の増加25,895千円及び未払法人税等の増加86,415千円によるものです。固定負債につきましては、1,224,806千円(前期末比9,222千円増)となりました。これは主に、退職給付引当金の増加50,020千円等によるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては638,142千円(同130,409千円増)となりました。これは、増益による繰越利益剰余金の増加130,410千円によるものです。

②キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は1,144,087千円(前年同期比309,075千円増)となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は185,022千円となりました。これは主に税引前当期純利益の計上232,211千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は30,921千円となりました。これは主に差入保証金の差入による支出18,448千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は57,738千円となりました。これは主に長期借入金の減少57,738千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

このような環境の中、翌事業年度(2023年9月期)の業績見通しにつきましては、売上高6,600,000千円(前年同期比14.7%増)、営業利益484,486千円(前年同期比113.9%増)、経常利益493,070千円(前年同期比102.2%減)、当期純利益305,210千円(前年同期比119.9%増)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年9月30日) | 当中間会計期間 (2023年3月31日) |
|----------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,219,751 | 1,328,114 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 665,230 | 757,748 |
| 仕掛品 | 6,891 | 949 |
| 前渡金 | 3 | 0 |
| 前払費用 | 23,094 | 36,082 |
| その他 | 2,622 | 5,553 |
| 貸倒引当金 | △6,207 | △6,773 |
| 流動資産合計 | 1,911,387 | 2,121,675 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 397,751 | 395,682 |
| 構築物 | 3,665 | 3,530 |
| 工具器具備品 | 11,205 | 10,997 |
| 土地 | 76,116 | 76,116 |
| 有形固定資産合計 | 488,739 | 486,326 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 7,680 | 9,364 |
| のれん | 77,769 | 38,884 |
| 無形固定資産合計 | 85,450 | 48,249 |
| 投資その他の資産 | | |
| 出資金 | 30 | 30 |
| 長期前払費用 | 2,954 | 1,678 |
| 繰延税金資産 | 68,131 | 70,808 |
| その他 | 32,905 | 50,897 |
| 投資その他の資産合計 | 104,022 | 123,414 |
| 固定資産合計 | 678,211 | 657,990 |
| 資産合計 | 2,589,599 | 2,779,665 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年9月30日) | 当中間会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 46,306 | 40,171 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 一年内返済予定の長期借入金 | 105,502 | 91,020 |
| 未払金 | 42,425 | 68,321 |
| 未払費用 | 327,324 | 323,076 |
| 未払法人税等 | 18,063 | 104,478 |
| 未払消費税等 | 133,066 | 111,146 |
| 預り金 | 78,745 | 66,819 |
| 賞与引当金 | 58,596 | 58,997 |
| その他 | 6,251 | 2,686 |
| 流動負債合計 | 866,283 | 916,717 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 450,000 | 450,000 |
| 長期借入金 | 712,296 | 669,039 |
| 退職給付引当金 | - | 50,020 |
| 役員退職慰労引当金 | 53,286 | 55,746 |
| 固定負債合計 | 1,215,583 | 1,224,806 |
| 負債合計 | 2,081,867 | 2,141,523 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 50,000 | 50,000 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 9,557 | 9,557 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 448,175 | 578,585 |
| 利益剰余金合計 | 457,732 | 588,142 |
| 株主資本合計 | 507,732 | 638,142 |
| 純資産合計 | 507,732 | 638,142 |
| 負債純資産合計 | 2,589,599 | 2,779,665 |

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

| | 前中間会計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) | 当中間会計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 2,792,014 | 3,253,871 |
| 売上原価 | 2,309,758 | 2,558,827 |
| 売上総利益 | 482,255 | 695,044 |
| 販売費及び一般管理費 | 332,974 | 426,763 |
| 営業利益 | 149,281 | 268,280 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 2 |
| 不動産賃貸収入 | 13,300 | 12,176 |
| 助成金収入 | 10,392 | 8,760 |
| その他 | 850 | 1,005 |
| 営業外収益合計 | 24,544 | 21,944 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,577 | 4,132 |
| 電子記録債権売却損 | 1,554 | 2,239 |
| 社債利息 | 851 | 851 |
| 不動産賃貸費用 | 5,856 | 6,503 |
| その他 | 123 | 412 |
| 営業外費用合計 | 12,963 | 14,139 |
| 経常利益 | 160,862 | 276,086 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,897 | - |
| 特別損失 | | |
| 退職給付引当金繰入額 | - | 43,875 |
| 特別損失合計 | - | 43,875 |
| 税引前中間純利益 | 163,759 | 232,211 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 36,515 | 104,478 |
| 法人税等調整額 | 37,880 | △2,676 |
| 法人税等合計 | 74,396 | 101,801 |
| 中間純利益 | 89,363 | 130,409 |

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間会計期間 | 当中間会計期間 |
|---------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) | (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前中間純利益 | 163,759 | 232,211 |
| 減価償却費 | 3,805 | 6,913 |
| のれん償却費 | 38,884 | 38,884 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △6,354 | 400 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | - | 50,020 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 12,375 | 2,460 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 231 | 565 |
| 受取利息 | △1 | △2 |
| 不動産賃貸収入 | △13,300 | △12,176 |
| 助成金収入 | △10,392 | △8,760 |
| 支払利息 | 4,577 | 4,132 |
| 不動産賃貸費用 | 5,856 | 6,503 |
| 固定資産売却益 | △2,897 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △40,122 | △96,535 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 3,723 | 5,941 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,444 | △6,134 |
| その他 | △97,166 | △25,150 |
| 小計 | 64,423 | 199,273 |
| 利息の受取額 | 1 | 2 |
| 利息の支払額 | △5,139 | △4,951 |
| 法人税等の支払額 | △203,148 | △18,063 |
| 助成金の受取額 | 10,392 | 8,760 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △133,470 | 185,022 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △369,974 | △6,880 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,525 | △2,918 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,897 | - |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 13,300 | 12,176 |
| 投資不動産の賃貸に係る支出 | △1,806 | △2,889 |
| 定期預金預入による支出 | △12,000 | △12,000 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,228 | 40 |
| 敷金及び保証金の支払による支出 | △627 | △18,448 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △367,509 | △30,921 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減 | △50,000 | - |
| 長期借入金の借入による収入 | 345,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △103,669 | △57,738 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 191,330 | △57,738 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △309,649 | 96,362 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,144,662 | 1,047,711 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 835,012 | 1,144,087 |

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過期的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。この変更による中間財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業は総合エンジニアリング事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。